

日本共産党は、3つの仕事をやります

ご近所のみなさん、日本共産党です。いよいよ総選挙です。この場をお借りしまして、日本共産党の見解を訴えさせていただきます。しばらくの間のご協力、よろしくお願い致します。

みなさん。いま、世界も日本も大きな激動と変化の時代に入っています。これまでの自民党政治の延長では、経済でも外交でも新しい時代に対応できなくなっています。そうしたなかでおこなわれるのが今度の総選挙です。マスコミなどは「自民か民主か」と宣伝していますが、いま求められているのは、そんなちっぽけな選択ではありません。21世の日本の進むべき道はどうあるべきかです。

私たち日本共産党は、21世紀の日本の「進むべき道」として、「二つの旗」を高くかかげて総選挙にのぞみます。一つは、国民の生活と権利を守る『ルールある経済社会』を築くことです。そのために、異常な財界・大企業中心の政治を変えます。二つ目は、憲法9条を生かし、世界とアジアの平和に貢献する『自主・自立の平和外交』をすすめることです。そのために、「軍事同盟絶対」の政治から抜け出します。ごいっしょに、新しい政治への改革をすすめるようではありませんか。

自民党と民主党、この二つの党は、国民の前に二十一世紀の日本の進路をどうするか「旗印」を示すことができません。この国の進むべき道すじを堂々と指し示す日本共産党をぜひとも大きくのばしてください。

みなさん。今度の総選挙で日本共産党を伸ばしていただければ、新しい国会でつぎの三つの仕事にとりくむことをお約束します。

第一は、国民の願いを実現するリード役を果たすという仕事です。私たちは自民党はもとより、民主党とも政権協力をおこなう条件はありません。消費税の問題、憲法の問題など、政治の根本で立場が違うからです。しかし、日本共産党が進んでくれば、新しい国会で国民の利益になることはほとんどん提言し、協力もしていく考えです。たとえば労働者派遣法を抜本的に改善し、安心して働くルールを確立すること、後期高齢者医療制度を撤廃すること、障害者自立支援法の応益負担を止めさせることなどに力をつくします。また、食料自給率を向上させ、農産物の価格保障・所得補償を実現させることなど、国民のみなさんの願い実現へのリード役をしつかり果たす決意です。

第二は、自民党と民主党による、まちがった政治の競い合いの危険に、正面から立ちはだかり、悪政のストップ役として頑張ります。いま、消費税の増税が問題になっていますが、自民党は3年後、民主党は4年後に増税という、ほとんど変わらない立場です。むしろ消費税増税の先導役を果たしてきたのが民主党です。憲法改悪でも、民主党は憲法9条を変え、自衛隊の海外派兵の先導役になるなど、ここでも自民党と競い合っています。また、民主党が衆院比例代表の定数を八十削減する提案を行ない、自民党もそれに応じています。国会には自民党と民主党以外はいらないというに等しいものです。こんな議会制民主主義を破壊する動きは、絶対に許せません。自民党と民主党は違いがないどころか、むしろ共通した部分にこそ危険性があります。日本共産党が大きいのでこそ、悪政の競い合いをストップさせることができます。大きなご支持をお願いします。

第三の仕事は、新しい時代にふさわしい、新しい政治：「国民が主人公」の民主的政権にむけて、新たな国民的共同を前進させるという仕事です。日本共産党は、そのために各分野、各界の幅広い人々との共同の運動をすすめています。その流れをさらに大きく前進させ、いままでとちがった新しい政治への展望をきりひらいていきます。どうぞ、この仕事もぜひともやらせてください。新しい国会でいまお話しした「三つの仕事」に全力でとりくみます。なんとしても日本共産党を大きく前進させてください。よろしくお願いします。

最後になりますが、みなさんご承知のように、衆院選挙は一人一人が2回投票するしくみになっています。そのなかで政党を選ぶ「比例代表選挙」は、国民のみなさんの意思がより正確に議席に反映します。「比例代表選挙は日本共産党」とぜひともみなさんのご支援をお願いします。一票一票がすべて議席に結びつきま。日本共産党とともに、新しい政治をつくりあげていこうではありませんか。重ねて大きなご支援をお願いいたします。この場からの訴えを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。